

伝統行事 「万灯火」

3月20日、村内12集落で万灯火行事が行われました。火が灯ると幻想的な風景が広がり、観賞に来た方々が楽しんでいました。
(関連2ページ)



上小阿仁村PRキャラクター
こあびよん

主な内容

- 2～3P 主な出来事
- 8～9P 令和8年度予算について
- 10～11P 役場職員の配置について

新しい教育委員を 紹介します

3月定例議会において、上小阿仁村教育委員に矢旗政則氏の選任が同意されました。



矢旗 政則 氏
(福館)

任期
令和12年3月14日まで



選任書を受け取る矢旗政則氏

上小阿仁中学校卒業式

3月7日、上小阿仁中学校の卒業証書授与式が行われ、男子4人、女子2人の卒業生が学び舎から巣立ちました。

式では、田中一也校長から生徒一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

卒業生を代表し、三浦褒ほまれさんが「この5人と出会い、走り、そして過ごしてきた全ては、私の人生の大きなカケラとして色褪せません。この学び舎で培った思い出、絆、仲間たちの存在を原動力にして、私たちは新たな世界に旅立ちます」と巣立ちの言葉を述べました。

最後に、卒業生らは先生や在校生らに見送られながら、3年間過ごした学び舎を後にし、新たな一歩を踏み出しました。



在校生へメッセージを贈る卒業生

上小阿仁小学校卒業式

3月12日、上小阿仁小学校の卒業証書授与式が行われ、男子3人、女子3人が6年間の小学校生活を終えました。

学生服とセーラー服に身を包み、緊張しながらも堂々と入場した卒業生たちは、田中一也校長から卒業証書を受け取りました。

田中校長が「学び続ける自分を大切に。美しく仲間と繋がること。自分の心との対話を大切に。たくましく、何事にも挑戦する自分を大切に。いよいよ旅立ちの時です。小学校のリーダーとして後輩たちを力強く牽引してきた自信と誇りをもって、互いの心を繋ぎながらフルパワーで中学校生活に飛び込んでください」と式辞を述べました。

卒業生は、新しい中学校生活への希望を胸に旅立ちました。



卒業した6人の児童

かみこあに保育園卒園式

3月21日、かみこあに保育園の卒園式が行われました。

男子1人、女子4人の卒園児は、点呼の後、小林園長から卒園証書を受け取りました。

小林園長は「ゆり組のみなさんご卒園おめでとうございます。学びの生活の中で、ゆり組のみなさんはいつも園の中心となって、元気いっぱい毎日でした。小学校に行っても仲良く助け合ってください。そして自分らしい学校生活を送ってください」と挨拶しました。

その後、山田教育長から手渡された真新しいランドセルと黄色い帽子を身に着けて、小学校への期待に胸を高鳴らせながら卒園しました。



新生活に胸が高鳴ります

先祖供養の灯火 万灯火行事



福館集落の万灯火

3月20日、村内12集落で伝統行事の「万灯火」が行われました。今年も、道の駅かみこあに前のほか、生涯学習センターホールでもイベントが開催され、キッチンカーの出店やミニ縁日などで大いに賑わいました。

午後6時10分に最初の堂川集落の万灯火が点火され、時間差で次々と各集落の万灯火に火が灯されました。最後の小沢田集落の点火の後には花火が打ち上げられました。

幻想的な明かりが田んぼや川を照らし、訪れた人々はその光景を楽しんでいました。

飲酒運転追放等競争 表彰伝達式



記念撮影
(交通安全協会、交通安全母の会、交通指導隊)

3月17日、上小阿仁村役場の大会議室で秋田県飲酒運転追放等競争に係る表彰伝達式が行われました。

秋田県では、年単位で、飲酒運転の違反・事故件数及び飲酒運転以外の事故の抑止状況について優れた成績を挙げた市町村を表彰しています。

小林村長は「今回の名誉ある受賞は村民、交通安全協会の皆さん、交通指導隊、交通安全協会の皆さんが、交通事故防止のために取り組んでいただいた結果であり、心から感謝申し上げます。飲酒運転については、一人ひとりの自覚と地域の取り組みによって、防ぐことができるものだと思います。今後とも飲酒運転ゼロを継続していきたい」と挨拶を述べました。

クマ捕獲用 箱わな贈呈式



鳥潟代表取締役から目録を受け取る様子

3月26日、株式会社北日本鉄工（北秋田市・鳥潟剛治代表取締役）のオリジナル害獣捕獲器「入るベアー12」の贈呈式が村長室で行われました。

株式会社北日本鉄工は、ボーリング用やぐら・サブストラクチャー、特殊機械の製作を行っている会社です。

今回贈呈された「入るベアー12」は、2つのドラム缶をつなげた形状で、直径約70センチ、長さ約1・8メートルで、中の餌をクマが引っ張ると扉が下がる仕組みになっております。

鳥潟氏は「害獣被害が抑えられることで、地域貢献ができればと思います。弊社で製造している『入るベアー12』を寄贈させていただきます」と挨拶を述べました。

全日本きもの装いコンテスト 東北大会カジュアルの部 準女王に伊藤史織さん



準女王に輝いた伊藤史織さん（左）

3月15日、公益社団法人全日本きものコンサルタント協会が主催する着付けの技術や所作の美しさを競う「全日本きもの装いコンテスト東北大会」が岩手県民会館で開催され、カジュアルの部に出場した17名の中から伊藤史織さん（小沢田）が準女王に入賞しました。

3月16日、伊藤史織さんをはじめとする入賞者4名が、岩手県庁や盛岡市役所に結果報告のため表敬訪問しました。

5月31日に東京で行われる世界大会には、東北代表として出場する予定です。

施政方針

令和8年3月上小阿仁村議会定例会の開会にあたり、村政運営に関する基本的な考え方を議員並びに村民の皆様申し上げます。

高市早苗内閣総理大臣は、基本方針の中で「日本をもっと安心で、もっと暮らしやすい国にすること」を掲げております。

激甚化する自然災害の被害を軽減するため、大雨・地震などに備えたインフラ整備や河川・ダム・堤防の強化を進めるとしています。

また、地方の暮らしを大切にすることを観点から、地域産業の育成などを明確に打ち出しています。

昨年4月に就任した鈴木健太秋田県知事は、秋田県の人口減少は、自然減だけでなく、社会減も大きく、社会動態の改善こそが秋田再生の力ぎであると述べています。

出生数の改善だけでなく、転出を減らし、転入を増やすことを県の最

重要課題の一つと位置付けています。

村は、国の基本方針や知事の考え方を尊重しつつ、人口減少の緩和と災害防止事業を推進するため、総合計画に基づき施策を進めてまいります。

人口減少の緩和については、産業振興に加え県からも高い評価を受けている居住施設の整備を通じて、県外からの移住促進や高齢者を含む誰でも入居しやすい環境づくりを進めてまいります。

また、4年連続で発生した豪雨災害に対応しなければ、村民の苦痛を取り除くことはできません。

防災効果の高い河川改修や洪水を防ぐ防災ダム、住家を守る砂防ダム、山を守る治山ダム、そして、山林整備による土砂流出の防止を進めてまいります。

これらの整備によって、カーボンニュートラルの実現やハイブリッドダムによる水力発電が可能となり、洪水から村民の命と財産を守るとともに、安定的に安全な飲料水や農業用水、電力を供給することができま

災害時には、食糧・水・電気のない生活に大きな困難が生じました。

ごはんが食べられない、お風呂に入れない、トイレが使えない、テレビが見られない、冷暖房が使えないなど、村民のみなさんに不便を強いてしまいました。

今後、このような状況を二度と村民に経験させるわけにはいきません。国もまた、防災事業による国民の安心・安全の確保に向けて動き出しています。

約60年前の村は、萩形ダムや山林関連事業、各種産業によって、たいへん賑わっていました。

再び、賑わいを取り戻すため、居住環境整備や村にあるものを活用して、新たな産業の創出を進めてまいります。

これらは、村の総合計画である「過疎地域持続的発展計画」に基づき事業展開し、子どもを育てやすい環境づくりにつなげていきます。総合計画の三本の柱は次のとおりです。



萩形ダム下流

第1番目は、村民の健康です。

健康で長生きしていただくことが第一です。

そのためには、病気や要介護状態にならないよう予防事業に力を入れます。

また、すでに病気や要介護となっている方には、治療やリハビリを支援します。

さらに、低所得世帯への支援も重要です。

限られた収入の中から税金や国民

健康保険税、介護保険料などを負担していただいています。

残った収入で衣類・食料品・光熱費などを賄っている現状を踏まえ、物価高騰に対応した生活支援に力を注いでまいります。



物価高騰対策生活応援商品券

第2番目は、雇用の拡大です。防災ダムや山林整備、水力発電による自然エネルギーへの転換など、村に眠る豊富な資源を活かし、既存事業の見直しや新規事業の創出によって産業を興してまいります。

民間事業者には大いに利益を上げていただき、まず、従業員の賃金を引き上げ、社会貢献を果たしていただくことで、利益が再び事業者に還元されると考えています。

もどってきた利益を設備投資に活用することで、村の産業経済はより良質なものになると信じています。村は、民間でできることは民間にまかせ、事業検証しながら再挑戦する商工業を側面から支援してまいります。

第3番目は、教育の充実です。子どもは、村の宝です。村は、先人の教えを継承し、「教育立村」を掲げてまいりました。

子どもは、保護者だけでなく、地域住民が一体となって育てるものです。かつて村民が生活に苦しんでいた時代、村は、木を切り学校を建てました。

その際、他市町村から「上小阿仁村は教育を大切にしている村だ」と称されたと聞いています。村の自慢は、子どもたちです。少数精鋭で他地域に挑戦していき

ます。

そのため、子育てや教育環境を他地域では、享受できない最高のものにしていきます。

また、学校教育だけでなく、社会教育、文化・スポーツ活動にいたるまで、だれでもが公平にやりたいことに挑戦できる環境整備を進めます。



稲刈り体験

この三本の柱を基本に、持続可能な村をつくり、自然にやさしい、人間にやさしい農業や森林整備、社会

教育活動、健康づくり、人づくりに力を入れてまいります。

事業推進においては、知識がなければ、知識のある人に教えを請い、できる人をお願いすることも大切です。

村は、何もしないでいれば、衰退していきます。

まず、やってみて、うまくいかなければ原因を検証し、見直し、再挑戦することで村は必ず良くなると信じています。

小規模自治体であるからこそ、住民のかゆいところに手の届く、温かい絆で結ばれた本村の強みを最大限に活かし、次世代につながる持続可能な村づくりを進めてまいります。

利他の心を大切にして、必死に村民のために奉仕することで、「人にやさしく、健康で安心して生活できる村」を実現するため、議員並びに村民の皆様のお知恵とお力をお借りしながら進めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。政方針といたします。

3月定例会

行政報告要旨

総務課関係

令和7年度補正予算について

今定例会提出の令和7年度一般会計補正予算は、普通交付税の追加交付や事業費の確定見込み等による減額補正が主なものとなっております。

また、特別会計につきましては、年度末の調整による補正となっております。年度内に完了が困難な一般会計の事業につきましては、繰越明許費を設定しております。

人事関係について

退職者の定年年齢は2年に1歳ずつ段階的に引き上げられております。

令和6年度末で61歳に到達している職員が定年退職の対象となったあと、次の対象者は、令和8年度末で62歳に到達している職員となっております。令和7年度末での定年退職者はおりません。

現在1名の再任用職員については延長する予定となっております。

また、令和6年度から秋田県町村電算システム共同事業組合に派遣していた職員1名は、令和7年度末の派遣期間終了後、村に復帰することになっております。本村では、一般行政のほか、看護師、保育士の専門職の募集も行っておりますが、公務員志望者は国、地方ともに減少傾向が続いております。今年度確保できなかった職種も含め、引き続き人材の確保に努めてまいります。

1月21日からの大雪への対応について

令和8年1月21日からの大雪に対し、令和8年1月23日に豪雪警戒部を設置しました。その後、積雪量や気象状況等を鑑み、2月3日に豪雪対策本部に移行し対応にあたっております。

2月3日には、村が、北秋田市など秋田県内の6つの自治体とともに、大雪に係る災害救助法の適用を受けました。

村では、IP告知端末を活用した注意喚起や、集落会への危険箇所や被害等の情報提供の依頼のほか、消防団への見回りの依頼、職員による村内のパトロールなどを行い、情報の収集にあたっております。

積雪や落雪による建物の被害報告が多数あり、その都度職員が現場を確認しております。

また、雪おろし等の作業事故や転倒によるケガ人や、農業用施設の被害も報告されております。

2月5日、小沢田地内で積雪により屋根が陥没し、室内に雪が入り込んだ住宅がありました。この世帯の方は、コアニティの短期滞在居室の利用を申し込まれ、現在コアニティで生活されております。

また、2月6日に開発センターに開設した自主避難所には、その日の夜から翌7日の朝まで、積雪で家屋の危険を感じられた1世帯の方が避難されました。この方は、2月13日夕方から14日朝まで、再度避難されております。

自主避難所は、引き続き開発センターに開設しております。

2月16日現在で確認されている被害状況は、重傷者2名、軽傷者2名、建物被害は、住家19件、非住家25件となっております。

農業用施設等は、パイプハウス5棟が全壊、そのうち4棟で栽培していた農作物も被害を受けました。

また、農業用機械の格納庫1棟が半壊し、格納していたトラクターが一部破損しております。

道路除雪の状況は、除雪した雪の堆積場所が満杯になり、村内の事業者や村直営班の排雪作業が追い付かない状況でしたが、2月5日から北秋田市と五城目町の事業者に応援いただき、排雪作業を進めることができております。

なお、歩道除雪については、除雪機械の故障によりご不便をおかけしておりますが、北秋田地域振興局のご支援により、早急に対応することとしております。

引き続き、気象情報等を注視しながら対応に努めてまいります。

住民福祉課関係

北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合について

1月27日、北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合定例会が開会され、令和8年度当初予算等について審議しております。

令和8年度当初予算につきましては、総額8千669万8千円で、前年度当初予算と比較して212万5千円の増額となります。

村の負担金につきましては、403万2千円で、5万円の増額となります。増額の主な理由は、廃棄物処理費の増加によるものとなっております。

長下処分場の粗大ごみの受入れにつきましては、12月末現在338トンで、内訳は自己搬入粗大ごみ227トン、家屋解体材31トン、市村収集粗大ごみ4トン、クリーンアップごみと熊対策の伐採果樹

木等15トンのほかに、クリーン・リサイクルセンター経由での受け入れが61トンとなっております。

し尿処理について

し尿及び浄化槽汚泥の処理につきましては、令和2年度より北秋田市のし尿処理施設に委託しております。

健康づくり事業・介護予防事業について

健康づくりや介護予防を目的とした事業につきましては、感染症対策に細心の注意を払い、参加者の状態等も考慮しながら実施しております。

予防接種事業について

予防接種につきましては、本年度も季節性インフルエンザワクチンを接種した全村民を対象に自己負担額の助成を行っております。

10月からの実施で914名（定期接種562名、任意接種352名）が接種を完了しており、前年度同期と比較して37名（定期接種20名、任意接種17名）の減となっております。

新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、10月からの実施で定期接種235名、任意接種101名の方が接種を受けております。

定期予防接種以外の任意予防接種につきましては、村では季節性インフルエンザ・風しん・子宮頸がんワクチンの接種や、50歳以上65歳未満の带状疱疹ワクチン及び65歳以上で肺炎球菌ワクチン未接種者に対し接種費用の助成をしております。

高齢者世帯等除雪費助成事業について

高齢者等の冬期間における生活の安全

確保を図るため、雪下ろしや除排雪に係る費用に対して、「高齢者世帯等除雪費助成金」を支給しております。

高齢者のみ世帯など、自力での除雪が困難な世帯に対して対象除雪費用の3分の2の助成で、一世帯上限8万円を助成するものです。

申請期限は3月31日で、2月16日現在の申請件数は20件となっております。

産業課関係

農業関係について

令和7年12月10日に秋田県農業再生協議会臨時総会が開催され、秋田県の令和8年産米における「生産の目安」が決定されました。

前年と比較して数量で9千トンの増加、面積換算で1千500haの増加となっております。

本村においては、上小阿仁村農業再生協議会臨時総会を书面開催し、「生産の目安」について、昨年と比較して数量で31トンの増加、面積換算で6・45haの増加で承認される予定です。

地域おこし協力隊の募集について

村内の認定農業者のもとで農作業を行い、活動終了後に村内で就農を目指す委託型地域おこし協力隊と、野外生産試作センターで村の特産作物である食用ほおずき等、畑作物の栽培技術を習得し、農業で定住を目指す雇用型地域おこし協力隊は引き続き募集してまいります。

災害復旧事業について

令和5年7月の豪雨により被災した7件の災害復旧事業は、令和7年11月末ですべての工事が完了しております。

令和6年7月の梅雨前線豪雨により被災した46件の災害復旧事業については、33件の工事が完了し、13件の工事が施工中となっております。

令和7年8月と9月の豪雨により被災した15件の災害復旧事業については、農家の皆さんが営農を継続できるよう、早期の復旧を目指し取り組んでまいります。

林業・商工関係について

地域おこし協力隊の募集について

林業による地域活性化の取り組みや、森林整備等の林業を通じた就業機会の創出など、林業に関する知識を習得しながら、就業を目指す雇用型地域おこし協力隊に1名の応募がありました。書類選考を経て、面接した結果、採用することに決定しております。

地域おこし協力隊として採用された方は、秋田市在住の39歳男性です。令和8年4月に着任する予定です。

みんなのくらし応援商品券発行事業について

商工会を事業実施主体として、村内のみで使用可能な「みんなのくらし応援商品券」を発行します。エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた村民の生活支援を行うとともに、地域経済を下支えし、地域内の事業者を支援してまいります。

商品券は令和8年6月1日（住民基本台帳に登録されている方）を基準とし、村から世帯主宛てに配布します。額面は1人当たり500円の商品券30枚、合計1万5千円分をお届けします。商品券の使用期間は、令和8年7月から12月までを計画しております。

建設課関係

除雪について

今シーズンの除雪一斉出動は12月6日が初出動となり、昨年より3日ほど早いスタートとなりました。

一斉出動回数は12月が3回と例年より少ないペースでしたが、1月から寒波による降雪が続き連続出動となったことから、1月の出動回数は25回と過去5年では最多の出動回数となっております。

水道・下水道基本料金の減免について

エネルギー・食料品価格等の物価高騰が長期化する中、住民生活への影響を緩和するため、水道・下水道基本料金の9カ月分を減免します。

減免の期間は令和8年4月分から12月分までを計画しております。

教育委員会関係

学校教育関係について

令和8年度の上小阿仁小学校児童数につきましては、6名が卒業し、5名が入学します。

今年度より1名減の35名の予定です。また、上小阿仁中学校の生徒数は6名が卒業し、6名が入学しますので、今年度と同数の21名の予定です。

したがって、令和8年度の上小阿仁小・中学校児童生徒数は56名の予定です。学級数は、義務教育学校学級編制基準により、小学校は2・3年と4・5年の複式学級となり、普通学級が4学級、特別支援学級が1学級で、計5学級となります。

中学校は普通学級が3学級、特別支援学級が1学級で、計4学級となります。

幼児教育関係について

令和8年度の園児数は男16名、女10名、計26名の予定です。

高校生海外研修事業について

中高生海外研修事業につきましては、中学2年生5名、高校3年生1名の6名が、3月23日から3月30日までの日程でオーストラリアのキャンベラ市を訪問します。

国保診療所関係

診療状況について

昨年4月から今年1月までの診療状況は、医科外来が診療日数196日、患者数4千648人、1日平均患者数は24人となっております。昨年と比較して1日平均で1人の減となっております。

医科外来のうち毎週月曜日診療の泌尿器科につきましては、診療日数32日、患者数648人、1日平均患者数は21人となっております。昨年と比較して1日平均で1人の減となっております。これまで泌尿器科は、月曜日のみ診療しておりますが、今年1月から月曜日が祝日の場合、火曜日に診療しております。

毎週水曜日と木曜日診療の歯科につきましては、診療日数84日、患者数761人で1日平均患者数は10人となっております。昨年と比較して1日平均で同数となっております。

診療所で昨年10月から実施した季節性インフルエンザの予防接種を受けた方は527人でした。同じく10月から実施した新型コロナウイルス感染症の予防接種を受けた方は310人でした。